

参考資料

申請時の注意事項

【施工能力評価型】

※本資料は、申請時の注意事項を参考に示したもので、掲載している様式等については参考扱いとし、**該当工事の公告資料**を十分に確認し作成をお願いいたします。

※原則として、様式の改変は認められません。
必ず**公告時に配付される様式**にて提出をお願いいたします。

令和**5**年**3**月**一部改定**

中部地方整備局
企画部技術管理課

※本資料では、令和4年8月版から今回改定する内容のうち、「施工能力評価型」に関するページのみを抜粋して掲載しています。

申請時の注意事項

— 目次 —

申請書等の提出について	… 2
申請様式 1～4	… 8
様式 5（災害活動実績）	… 13
様式 6（ボランティア活動実績）	… 14
様式 7（遠方地への災害支援等活動実績）	… 15
様式 8（維持修繕工事等の施工実績）	… 16
「維持修繕工事等の施工実績」について	… 17
様式 9、（様式10）（企業の実績）	… 18
「週休2日の取組」について	… 20
「BIM/CIM工事の実績」について	… 26
「難工事の実績」について	… 27
様式11（技術者の実績）	… 28
「安全対策の評定点」について	… 29
「新技術の活用実績」について	… 30
「海外インフラプロジェクト優良技術者」について	… 32
別記様式 1（特例監理技術者）	… 33
様式12（当該事務所管内の工事実績）	… 34
様式13（登録基幹技能者の配置）	… 35
様式14（担当技術者の資格）	… 36
「災害協定締結の実施有無」について	… 37
様式15、16（簡易な施工計画）	… 38（改定）
様式17、18（技術提案）	… 40
様式22、23（工事費内訳書）	… 42
様式24（工事施工内容確認資料）	… 44
様式25（手持ち工事量）	… 45
様式26、27（歩掛見積書）	… 46
様式28（参加を希望する工事の一覧）	… 48
様式29（工事成績評定点一覧表）	… 49
様式36～39（ICT施工 アンケート）	… 50
様式40（ワーク・ライフ・バランス）	… 55
様式41（自由設定項目）	… 56
様式42（高度なマネジメントの実施実績）	… 57
様式43（競争参加資格確認申請書取下げ届け）	… 58
様式44（賃上げの実施）	… 59

※本様式は、「施工能力評価型チャレンジ型」の場合にのみ、提出となります。

様式15 この様式は参加を希望する何れかの1件の工事にまとめて添付すること

(用紙 A4 版)

令和 年 月 日

「宛先」・「工事名」の間違いのないよう注意

分任支出負担行為担当官

中部地方整備局長 宛

〇〇〇事務所長 宛

〇〇市〇〇区〇-〇-〇

〇〇〇建設株式会社

代表取締役〇〇 〇〇

(又は〇〇支店長 〇〇〇〇)

令和4年度 〇〇〇〇工事

施 工 計 画

等級区分 一般土木工事 〇等級

所在地 (本社(本店、支店、営業所)の所在地を記入すること。)

業者コード

建設業許可番号 〇〇-〇〇〇〇

責任者	所 属:	_____
	役 職:	_____
	氏 名:	_____
担当者	所 属:	_____
	役 職:	_____
	氏 名:	_____
	電話①:	_____
	電話②:	_____
	E-mail:	0000000@00.00.00

標記について、令和〇年〇月〇日付けで公告のありました「令和4年度 〇〇〇〇工事」の施工計画を別紙のとおり提出します。

・押印不要。

・メール提出の場合は責任者連絡先等を記載

注1) 電子入札システムを用いて提出すること。ただし、技術者等の提出書類の合計容量が10MBを超える場合には、電子メールで提出すること。容量が大きい場合は、電子メールで提出できない場合は、発注者の指示に従うこと。

注2) 押印は不要。

注3) 電子メールで提出する場合は、責任者、担当者、連絡先電話番号及びメールアドレスを必ず記載すること。電話番号は、事業所等の「代表番号」「代表番号+内線」「直通番号」等を2回線記載すること。(ただし、複数回線の電話番号がない場合は、1回線を記載する。)

注4) 担当者は、申請書等の内容に対する問い合わせ及び施工体制の確認を行う際における担当者を記載するものとする。なお、施工体制確認のためのヒアリングについては、配置予定技術者に対して行う。

38(改定)

「〇〇工における施工時の配慮事項（簡易な施工計画）」

「〇〇工における施工時の配慮事項（簡易な施工計画）」

(例)

〇〇工のコンクリート工の施工において、本工事における施工上の特徴を踏まえ、標準案の確実な履行のための施工計画を、記載すること。

・施工計画の審査に関する事項

※1項目でも適切である場合は、競争参加資格を認める。

※以下に該当する内容を除いた内容で審査する。

①本工事と無関係なもの

②関係機関と新たに協議（河川協議、公安協議、発注者協議（発注者が示す基準等に抵触するものを含む）など）が発生するもしくは発生する可能性があり施工計画の確実な履行ができるか判断できないもの

※以下に該当する内容である場合には、競争参加資格を認めない。

- ・複数の項目において、設計内容や設計条件（設計図書、特記仕様書等）に変更を伴い標準案に対し品質を損なうと判断される場合
- ・複数の項目において、基準や指針と不整合な記載である場合
- ・全ての項目に記載する内容が、「〇〇仕様書による」のみの記載など具体的な記載がない場合
- ・未提出の場合
- ・施工計画が規定枚数を超える場合
- ・項目数が5項目《3項目》を超える場合
- ・全ての項目が審査項目設定理由の趣旨や前提条件を大きく逸脱するものと判断される場合
- ・法律、政令、省令、条例の規定に遵守違反、抵触する場合

番号	標準案の確実な履行のための配慮事項
①	
②	
③	
④	
⑤	

注1) 記載すべき事項は5項目《3項目》以内とし、A4サイズ片面3枚以内で簡潔かつ要領よく記述するものとする。なお文字サイズについては10.5ポイントとする。これに準拠しない場合は評価しない。

注2) 入札説明書9.(3)③※2(ウ)に該当する事項が1つでも含まれていた場合は、競争参加資格を認めない。

注3) 土木工事共通仕様書等に示された施工方法に従った施工であっても、当該工事の特徴を踏まえ、具体的に記述すること。なお、土木工事共通仕様書等の当該箇所の転記や条項の引用は差し支えない。

注4) 他の入札参加者と本件工事について相談等を行い作成されたと認められる場合など申請書等の記載内容が適正でない場合は競争参加資格を認めない。

注5) 本様式(様式16)には、入札参加者名(会社名・共同企業体の名称)を記載してはならない。

※本様式は、「施工能力評価型 I 型」の場合にのみ適用となります。

様式 16 (この様式は参加を希望する何れかの 1 件の工事にまとめて添付すること)

(用紙 A4 版)

簡易な施工計画

・「工事名」に間違いのないよう注意
・「会社名」に押印は不要

工事名：令和〇年度 〇〇〇〇工事
会社名：〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

「〇〇を実施するにあたっての新技术を活用した安全対策について」

(例)
○ 工の〇〇の施工において、本工事における施工上の特徴を踏まえ、標準案の確実な履行のための施工計画について、以下の①及び②の内容を記載すること。

① 配慮すべき着目点と着目理由

※着目点を 1 項目上げ、その理由

【記載内容】

- ① 配慮すべき着目点と着目理由：着目点を 1 項目あげ、その理由を記載。
 - ② 着目点に対応した施工方法：着目点に対応した施工方法を 1 項目記載。
- ※上記について、2 項目以上記載した場合は、競争参加資格を認めない。
※施工計画は A4 サイズ片面 1 枚とし、参考資料は様式を含めて 3 枚以内とする。

【評価基準】

記載内容の評価については、「可」又は「不可」のみの評価とし、点数化は行わない。なお、不可の場合は競争参加資格を認めない。
「可」・・・関係法令や共通仕様書等に準拠した提案であり、記載内容が適切。
「不可」・・・関係法令や共通仕様書等に準拠していない等の提案で、内容が不適切※1。

② 着目点に対応した施工方法

※着目点に対応した施工方法を 1

※1

不適切と判断される内容は以下を想定している

- ・本工事と無関係なもの
- ・関係機関と新たに協議（河川協議、公安協議、発注者協議（発注者が示す基準等に抵触するものを含む）など）が発生するもしくは発生する可能性があり、施工計画の確実な履行ができるか判断できないもの
- ・設計内容や設計条件（設計図書、特記仕様書等）に変更を伴い、標準案に対し品質を損なうと判断される場合
- ・基準や指針と不整合な記載である場合
- ・記載する内容が、「〇〇仕様書による」のみの記載など具体的な記載がない場合
- ・未提出の場合
- ・施工計画が規定枚数を超える場合
- ・審査項目設定理由の趣旨や前提条件を大きく逸脱するものと判断される場合
- ・法律、政令、省令、条例の規定に遵守違反、抵触する場合

注 1) 入札説明書 9. (3) ③に記載した、審査及び記載方法に関する事項を必ず確認すること。